

残り火が恋を真紅に染めてゆく。この愛だけは永遠につづくと信じていた。

STARRING
TERESA STRATAS
PLACIDO DOMINGO
CORNEILL MACNEIL

CONDUCTOR AND MUSIC DIRECTOR
JAMES LEVINE
WITH THE METROPOLITAN OPERA ORCHESTRA AND CHORUS
PRODUCED BY TARAK BEN AMMAR
WRITTEN, DESIGNED AND DIRECTED BY FRANCO ZEFFIRELLI

La Traviata



哀しい恋を華麗に描きつづける
映像の魔術師ゼファイレッリが
いま美しく切々と語ろう——
文豪ブゾワの絢爛たる愛の世界。

トラヴィアータ

——1985・椿姫——

監督・脚本・美術・フランコ・ゼファイレッリ/原作・アレクサンドル・デュマ・フィス

テレサ・ストラタス/プラシド・ドミンゴ/コーネル・マクニール/製作・タラク・ベン・アンマル/音楽監督・指揮・ジェームズ・レヴィン/原曲・ジュゼッペ・ヴェルディ(サントラ盤)ワーナー・パイオニア/撮影・エンニオ・グアルニエリ

文部省特選/メトロポリタン歌劇場管弦楽団・合唱団

ドルビー・ステレオ方式上映 DOLBY DIGITAL TOWA カラー作品/米・伊合作/東宝東和提供

※はじめて知ったまことの愛。けれども彼女は娼婦だった。ヴィオレッタ・ヴァレリー（世紀の恋）。

La Traviata

映像の魔術師ゼフィレリが極めた ひとりの女、至純の愛の世界——。

1848年の発表以来、世界中の涙を誘いつづける『椿姫（La Dame aux Camélias）』。その許されない愛ゆえの悲しい物語は、デュマ・フィスが24歳の時、書き下ろした作品です。この至純の《愛》を描いた名作が、映像の魔術師フランコ・ゼフィレリ監督の手で、いま生まれ変わりました。「ロミオとジュリエット」以来、「ブラザー・サン シスター・ムーン」「エンドレス・ラブ」と、清らかで美しい愛の世界を撮り続けてきた名匠が「椿姫」の永遠にして真実の《愛》を描く——絢爛たる映像世界で、このすばらしい感動に出逢うのも、もうすぐです。

全世界の女性に贈ります—— 美しくもはかない“真実の愛”。

『あの男のために別れます。これが私の愛だから…』輝くまでの美しさと魅力を放つヴィオレッタが知った、最初の“真実の愛”。それは決して許されないものでした。彼女は常にパトロンを持ちつづけることで社交界の華と咲きつづける女だったのです。せつない想いを胸に秘めて、ひとり身を灼く姿は、全世界の女性の涙を誘い、最後まで純愛を貫きとおす一途な姿には、誰もが心を揺り動かされるでしょう。

鳴りやまぬ拍手、喝采／欧米のマスコミに絶賛されました。

- ブラボー！視覚的な美しさと心の琴線に深く触れる哀しみを持った、忘れ難い作品。〈ニューヨーク・ポスト紙〉
- 映像に目を奪われている間、耳を満たしてくれるヴェルディ……すばらしい御馳走だ！ 〈プレイボーイ誌〉
- グレッタ・ガルボの「椿姫」以上に強烈な傑作！絶対に見逃してはいけない。〈ニューヨーク・タイムズ紙〉
- 以後何十年たっても決して色褪せることのない不朽の愛の名作。感動と陶酔の歴史的な名画。〈トリビュン紙〉
- 最高のパッション！映像は驚くほど美しく、音楽は胸をしめつけられるほどに感動的だ。〈タイム誌〉
- あふれる情熱と緊迫感——ゼフィレリ監督にとって「ロミオとジュリエット」以来の快作だ。〈ワシントン・ポスト紙〉

■愛と贅沢とドラマとを包み込む壮麗な音楽…すべてが私をスクリーンにきぎ付けにした。〈USAトゥデイ誌〉

数々の栄誉に輝きました。

●アカデミー賞(英) 美術賞・衣裳デザイン賞 ●アカデミー賞(米) 美術賞・衣裳デザイン賞・ノミネート ●ゴールデン・グローブ賞(米) 外国語映画部門・ノミネート ●文部省特選

この豪華さ、この美しさ—— 陶酔と耽美の世界を創りあげた名手たち。

主演は、マリア・カラスの再来と言われるテレサ・ストラータスと、世界が誇るスーパースター、プラシド・ドミンゴ。近代絵画を想わせる陰影に富んだ撮影を「ブラザー・サン シスター・ムーン」のエンニオ・グアルニエリが、衣裳を「ルードウィヒ」のピエロ・トージが担当。さらに、ポリショイ国立劇場のメンバーが壮麗な舞踊会を彩るなど、すべてに超一流の才能と熱意が、この華麗なる映像叙情詩を創り出したのです。

「ロミオとジュリエット」「エンドレス・ラブ」の…

フランコ・ゼフィレリ ●監督

愛の極限を求め続けた文豪

アレクサンドル・デュマ・フィス ●原作

ドルビー・ステレオ方式上映

カラー作品／米・伊合作／東宝東和提供

● DOLBY STEREO ● TOWA

センター
シネマ

61.3.1-

公開

トラヴィアータ
——1985・椿姫——

